

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 103p

大事業名	国民健康保険特別会計 事業勘定繰出金事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略]
	施策	持続可能な財政運営		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	国民健康保険法に基づき一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図る。
対象	国民健康保険特別会計事業勘定
意図・目的	一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計 事業勘定繰出金事業	国民健康保険法に基づき一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図る。	168,279	168,664	96,372

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

国民健康保険法に基づく一般会計からの繰出しにより、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図ることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 111p

大事業名	老人医療費助成事業	項		目
		民生費	社会福祉費	老人医療助成費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	平成30年4月1日条例廃止に伴う経過措置として、対象者にかかる医療費の一部を助成する。 (令和3年3月31日診療までが対象。消滅時効期間は5年。)
対象	65歳以上の重度以外の難病患者、結核患者、精神通院医療対象者
意図・目的	対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 老人医療費助成事業	平成30年4月1日条例廃止に伴う経過措置として、対象者にかかる医療費の一部を助成する。(令和3年3月31日診療までが対象。消滅時効期間は5年。)	5,559	740	667

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

老人医療費助成状況

保険種別	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
国保	25人	88件	6,838,210円	6,896円	348,745円
社保	4人	8件	3,127,280円	4,000円	138,840円
後期	52人	32件	5,901,430円	58,102円	290,198円
収入及び戻入					△73,312円
計	81人	128件	15,866,920円	68,998円	704,471円

令和4年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 113p

大事業名	障害者医療費助成事業	項 目	
		民生費	社会福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
	個別計画			
総合戦略				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び生活の安定に寄与し、福祉の増進を図る。
対象	①身体障害者手帳1・2級所持者②重度の知的障害者③中度の知的障害者で身体障害者手帳所持者④精神障害者保健福祉手帳1級所持者⑤難病法の助成対象者のうち障害年金1級または特別児童扶養手当1級該当者
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	41,421	49,643	23,807

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

障害者医療費助成状況

保険種別	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
国保	144人	3,907件	216,895,618円	3,748,370円	24,427,771円
社保	56人	1,824件	125,213,645円	1,542,139円	12,026,355円
後期	196人	5,858件	387,181,746円	5,292,480円	18,394,503円
収入及び戻入					△6,300,852円
計					48,547,777円

令和4年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 113p

大事業名	ひとり親家庭医療費助成事業	款		項		目	
		民生費	社会福祉費	社会福祉費	ひとり親家庭医療助成費		

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図る。
対象	ひとり親家庭の父又は母及び児童、養育者及び養育者が養育する児童、裁判所から配偶者暴力等（DV）に関する保護命令が出されたDV被害者
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 ひとり親家庭医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	4,805	4,689	2,583

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

ひとり親家庭医療費助成状況

区分	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
親	66人	1,095件	11,981,729円	433,335円	2,853,793円
子	106人	814件	9,105,335円	362,899円	1,684,973円
収入及び戻入					
計	172人	1,909件	21,087,064円	796,234円	4,538,766円

令和4年3月末現在

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 115p

大事業名	子ども医療費助成事業	項	
		民生費	社会福祉費
		目	
		子ども医療助成費	

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、乳幼児等の健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図る。
対象	乳幼児及び児童（満18歳に達した日以降における最初の3月末日を経過するまでの者）
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 子ども医療費助成事業	対象者の保険診療にかかる医療費自己負担分の一部を助成する。	19,609	24,366	8,717

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の経過措置分の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

子ども医療費助成状況

区分	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
町	1,105人	9,156件	105,236,231円	3,920,003円	20,453,708円
府	205人	1,956件	27,409,452円	861,132円	3,233,166円
収入及び戻入					
計	1,310人	11,112件	132,645,683円	4,781,135円	23,686,874円

令和4年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 決算書 保険課 115p

大事業名	未熟児養育医療給付事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	未熟児養育医療助成費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療養の給付を行い、児童福祉の向上を図る。
対象	養育のため病院又は診療所に入院治療が必要な未熟児及び結核児童
意図・目的	対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療養の給付を行い、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 未熟児養育医療給付事業	対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療養の給付を行う。	0	979	654

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療養の給付を行い、児童福祉の向上を図ることができた。

未熟児養育医療給付状況

対象者数	件数	総医療費	保険者負担額	公費負担額 (養育医療)	(再掲) 福祉医療助成額 [公費負担額に含む]	(再掲) 本人負担額 [公費負担額に含む]
3人	7件	18,188,110円	17,322,889円	865,221円	16,000円	6,500円

令和4年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 115p

大事業名	後期高齢者医療特別会計繰出金事業	項 目	
		民生費	社会福祉費 後期高齢者医療費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図る。
対象	後期高齢者医療特別会計
意図・目的	一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 後期高齢者医療特別会計繰出金事業	高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図る。	58,371	60,212	51,071

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図ることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

**A**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属 保険課  
決算書 115p

大事業名	大阪府後期高齢者医療 広域連合負担金事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略			
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	後期高齢者医療の資格管理、給付、保険料賦課などの事務を行う大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払う。
対象	大阪府後期高齢者医療広域連合
意図・目的	大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われることを目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 大阪府後期高齢者医療広域連合負担金事業	後期高齢者医療の資格管理、給付、保険料賦課などの事務を行う大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払う。	288,734	307,442	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

**A**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性



令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 123p

大事業名	国民年金事業	款		項		目	
		民生費		国民年金費		国民年金事務取扱費	

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図る。
対象	国民年金事務対象者
意図・目的	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 国民年金事業	国民年金に関する各種届出の受付及び相談業務などを行う。	82	53	7

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図ることができた。

区分	加入者数	男	女
1号	1,822人	981人	841人
任意	47人	14人	33人
計	1,869人	995人	874人

令和4年3月末現在

資格関係	403件
免除・猶予・学特申請等	214件
給付関係	12件
その他	28件
計	657件

令和4年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算審

保険課  
109p

大事業名	介護保険支援事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画		豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画		

1.概要

事業内容	社会福祉法人等による低所得者利用者負担軽減に対する助成などにより、低所得者の負担軽減を図る。
対象	65歳以上の第1号被保険者、要介護旧措置入所者等
意図・目的	低所得者の利用者負担軽減を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 介護保険支援事業	社会福祉法人等による低所得者利用者負担軽減に対する助成 低所得者の利用者負担軽減を図る。	12	11	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

令和2年度低所得者保険料軽減負担金の償還金を規定に基づき算定し、国、府に納付した。
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 109p

大事業名	介護保険特別会計事業勘定 定繰出金事業	項		目
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略				
個別計画		豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画		[その他]

1.概要

事業内容	一般会計から介護保険特別会計への繰出金
対象	65歳以上の第1号被保険者、40歳から64歳までの第2号被保険者
意図・目的	令和3年度の介護保険特別会計における町負担分について、一般会計から繰出しを行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 介護保険特別会計事業勘定繰出金事業	介護保険給付費等の町負担分、事務費及び給与費、介護保険システム改修費等について一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行うことにより、介護保険制度の円滑な運営を図る。	325,218	325,695	15,774

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

介護保険給付費、地域支援事業費のほか、人件費や事務費、システム改修費など必要な費用について、定められた基準に従って適正に繰出しを行ったことにより、介護保険特別会計事業勘定の財政的安定を図ることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 111p

大事業名	介護施設等整備事業	目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略				
個別計画		豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画		[その他]

1.概要

事業内容	地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。
対象	地域密着型サービス等整備所事業を実施する法人
意図・目的	介護施設等の整備（創設、増築（床）、改築、増改築等）を行う事業者に対して補助を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 地域密着型サービス等整備等助成事業	認知症対応型通所介護事業所の老朽化に伴う移転（改築）及び介護職員の宿舎施設の整備を行う法人に対し、大阪府介護施設等の整備に関する事業補助金の範囲内で補助を行う。	0	5,075	5,075

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

第8期豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づく地域密着型サービスの基盤整備として、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備を完了した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
 決算書 111p

大事業名	介護サービス事業所支援事業	目	
		民生費	社会福祉費 老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心してできる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	町内の介護サービス事業所等が事業を継続する際に必要な感染症対策費用の一部を補助するための支援金として、1事業所につき20万円を交付する。
対象	町内介護サービス事業者等
意図・目的	介護サービス事業者に対し、新型コロナウイルス感染症への対策に係る諸経費等の支出の増加または当該感染症の影響によるサービス提供の減少に伴う収入の減少等に関し、事業の継続を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 介護サービス事業所支援事業	町内の介護サービス事業所に対し、新型コロナウイルス感染症への対策に係る諸経費等の支出の増加または当該感染症の影響によるサービス提供の減少に伴う収入の減少等に関し、事業を継続する際に必要な感染症対策費用の一部を補助するための支援金として、1事業所につき20万円を交付する。	4,600	5,000	5,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

▼実績

- 令和4年1月通知発送、令和4年3月交付完了
- ・訪問介護事業所・・・6件（対象事業所全件）
- ・通所介護事業所・・・2件（対象事業所全件）
- ・地域密着型通所介護事業所・・・7件（対象事業所全件）
- ・認知症対応型通所介護事業所・・・1件（対象事業所全件）
- ・訪問看護事業所・・・2件（対象事業所全件）
- ・居宅介護支援事業所・・・7件（対象事業所全件）

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 125p

大事業名	款	項	目
国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業	衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・共同によるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略]
	施策	持続可能な財政運営		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	一般会計からの国民健康保険特別会計診療所施設勘定への繰出金
対象	国民健康保険特別会計診療所施設勘定 歳入
意図・目的	国保直営診療所運営に係る人件費などの赤字額を補てんすることで、診療所施設勘定の安定を図るもの

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業	一般会計から国民健康保険特別会計診療所施設勘定への繰出金	56,776	25,809	4,522

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

国民健康保険特別会計診療所施設勘定へ繰出しを行うことにより、国民健康保険診療所の施設・設備の適正管理及び診療を通じた地域住民の健康維持・増進を図ることができた。
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 103p

大事業名	戦没者等援護事務事業	項		目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	町主催で戦没者追悼式を開催する。 戦没者の遺族等の各種弔慰金等（国費）請求等事務の実施。
対象	戦争による傷病者・遺族
意図・目的	先の大戦における遺族や戦傷病者に対して援護を実施する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 戦没者等援護事務事業	戦没者追悼式の開催、戦没者遺族団体支援を通じて援護を実施する。 戦没者遺族援護の推進。	1	6	6

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、追悼式を開催することができなかった。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容		要因の特定
		進捗管理	費用対効果	
現状の課題	有	追悼式参加人数の減少		遺族の高齢化
	無			
	無			
中長期的な課題	有	追悼式参加人数の減少		今後も続く遺族の高齢化
	無			
	無			

5.総合評価

**B**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

高齢化している遺族との関わり方や追悼式のあり方、参加対象者の範囲拡充などについて、国や府、近隣市町の動向も踏まえて、豊能町戦没者追悼式遺族会と協議・検討する。

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 103p

大事業名	地域福祉推進事業(福祉課分)	目	
		款	項
		民生費	社会福祉費
			社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画	第4次豊能町地域福祉計画・第4次豊能町地域福祉活動計画			

1.概要

事業内容	福祉関係機関（社会福祉協議会・町民生委員児童委員協議会等）と連携し、地域福祉の向上を図る。
対象	住民（要援護者等）
意図・目的	地域福祉の向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 地域福祉推進事業	福祉関係機関と連携し、地域福祉の向上を図る。	7,121	33,618	18,965

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・町社会福祉協議会にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、支援を必要とする人に対し、安否確認や見守り、生活課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関へのつなぎなどを行うことにより、地域で安心して生活できる支援ができた。  
 コミュニティソーシャルワーカー配置事業 5,800,000円（相談件数 延べ449件）  
 ・町社会福祉協議会を支援することにより、地域福祉の担い手である関係団体やボランティアとも密接に連携を図ることにより、地域住民が抱える課題解決に向けた取り組みができた。  
 町社会福祉協議会補助金 25,023,359円（活動の参加者 延べ11,186人）  
 ボランティア事業委託 1,500,000円  
 ・住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」として、また、高齢者や障害者世帯の見守りや安否確認などを住民レベルで取り組んでいただいている民生委員・児童委員協議会を支援することにより、地域福祉の向上に寄与できた。また、今年度は、安心生活見守り名簿の更新のため、75歳以上の住民約4,500人のお宅を一軒一軒訪問し登録の意向確認を行った。  
 町民生委員児童委員協議会支援事業 1,115,000円(安心生活見守り名簿 登録者2,110人)

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性



令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 107p

大事業名	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付	経	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の給付
対象	低所得の子育て世帯
意図・目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯及びその他の子育て世帯に対し、生活の支援を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯及びその他の子育て世帯に対し、生活の支援を行う。 (支給対象者1人あたり50,000円)	0	8,945	8,945

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化する中、低所得のひとり親世帯及びその他の子育て世帯に対し、生活の支援を図ることができた。

支給対象者 125名 (125名×50,000円=6,250,000円)

事務費 2,693,891円  
(対象者抽出及び給付のためのシステム改修・運用費、振込手数料、通信運搬費、印刷製本費等)

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

**A**

A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 107p

大事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	項 目	
		民生費	社会福祉費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金の給付
対象	0～18歳の児童の保護者で所得が限度額未満の者
意図・目的	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の支援を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	0	567	0
2	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の支援を行う。 (支給対象者1人あたり100,000円)	0	152,602	152,602

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づく子育て世帯に対する臨時特別給付金を給付し、子育て世帯の支援を図ることができた。

支給対象者 1,499名 (1,499名×100,000円 = 149,900,000円)

事務費 2,700,684円  
(対象者抽出及び給付のためのシステム改修・運用費、振込手数料、通信運搬費、印刷製本費等)

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

**A**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 119p

大事業名	児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	項目		
		民生費	児童福祉費	児童措置費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	児童扶養手当・特別児童扶養手当の申請等に関する窓口事務の実施
対象	児童扶養手当・特別児童扶養手当受給資格者
意図・目的	対象者に手当が支給されることにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上に資する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	児童扶養手当(府)・特別児童扶養手当(国)の受給資格者に対し各手当が支給されるよう、窓口事務を実施する。	30	27	27

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>児童扶養手当、特別児童扶養手当の認定請求受付及び大阪府への進達を遺漏なく行い、児童の健やかな成長に資することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童扶養手当 受付件数（現況届を除く）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>新規及び府外転入 11件</li> <li>その他 16件</li> </ul> </li> <li>特別児童扶養手当 受付件数（所得状況届を除く）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>新規及び府外転入 6件</li> <li>有期再認定請求 14件</li> </ul> </li> </ul>
--

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要                      B：小事業について、事業の進め方に改善が必要                      C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要                      D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 119p

大事業名	児童手当支給事業	目		
		款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童措置費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	児童手当法に基づき、受給対象者からの申請受理、支給事務を実施する。
対象	児童手当・特例給付受給資格者
意図・目的	児童を養育している者に円滑に手当の支給を実施することにより、家庭等における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するものである。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 児童手当支給事業	児童手当法に基づき、受給対象者からの申請受理、支給事務を実施する。 児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するもの。	147,629	144,048	121,325
2 児童手当システム改修事業	児童手当制度改正の実施に伴うシステム改修	0	6,488	6,488

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

児童手当法に基づき、中学生までの児童を監護する受給者への手当の支給により、児童の健やかな成長に資することができた。  
 ・支給件数 延べ 13,472件（児童手当：12,513件、特例給付：959件）  
 （6月定期 4,386件、10月定期 4,334件、2月定期 4,512件、随時払い 240件）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

**A**  
 A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
 決算書 103p

大事業名	成年後見事務事業	目		
		款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略			
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	成年後見制度町長申立や後見人報酬に対する助成の実施、及び制度の普及啓発
対象	住民及び後見制度が必要な人
意図・目的	町長申立や後見人報酬に対する助成を行うことにより対象者の権利擁護を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 成年後見事務事業	老人福祉法(第32条)知的障害者福祉法(第28条)及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(第51条の11の2)による成年後見の市町村申立地域生活支援事業に基づく成年後見制度利用支援事業	347	289	249

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度利用支援事業(障害福祉) 令和2年度実績:1件 令和3年度実績:1件</li> <li>市町村長申立て(障害福祉) 令和2年度実績:0件 令和3年度実績:0件</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	対象者の増加が見込まれる。	高齢化率の上昇
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有	対象者の増加が見込まれる。	高齢化率の上昇
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

B	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要 B:小事業について、事業の進め方に改善が必要 C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

高齢化率の上昇により、成年後見制度の必要性が一層高まるため、啓発活動を強化する。
--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
決算書 103p

大事業名	地域福祉推進事業（福祉相談支援室分）	項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略]
	施策	地域福祉の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画	第4次豊能町地域福祉計画 第4次豊能町地域福祉活動計画 第4期豊能町障害者計画・第6期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	福祉相談支援室の効率的な運用
対象	住民（要保護者）
意図・目的	基幹相談支援センターとしての役割を持つ福祉相談支援室の効率的な運用を目指す。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 福祉相談支援室運営事業	基幹相談支援センターとしての役割を果たすために、福祉相談支援室が担当する各事業を横断的に対応する。	691	542	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

福祉のワンストップ窓口として支援を実施した。

種別	障害者手帳		種別	自立支援医療	補装具 受付件数	種別	相談対応件数	
	R2所持者	R3新規		受付件数			実件数	延件数
身体	772人	57人	更生医療	12件	24件	訪問	46件	107件
療育	129人	5人	育成医療	0件		面接	227件	452件
精神	175人	17人	精神通院	372件	電話	1068件		

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課、福祉相談支援室  
決算書 103p

大事業名	障害者自立支援事業	目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画		第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画		

1.概要

事業内容	豊能町立たんぼぼの家の管理運営業務 障害者自立支援給付費支給、障害者自立支援医療費(更生医療・育成医療)支給、重度障害者(児)住宅改修助成、重度障害者訪問看護利用料助成、身体障害者手帳診断料助成
対象	豊能町立たんぼぼの家利用者 住民（障害児・者）
意図・目的	障害者通所施設・豊能町立たんぼぼの家を指定管理者に委託し、適切に管理運営を行うことにより、障害者の自立の支援、日中活動の充実及び社会参加の促進を図る。 第4期豊能町障害者計画及び第6期豊能町障害福祉計画に基づき、障害者の自立及び社会参加に資するため、障害福祉サービス等の充実を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者自立支援事業（補助事業）	障害福祉サービス等にかかる費用を支給することにより、障害者の自立及び社会経済活動への参加を支援する。 障害者の自立を支援し、社会参加の機会が増えることにより、障害者福祉施策の推進が可能となる。	323,203	348,099	261,314
2 障害者自立支援事業（単独事業）	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく、障害福祉サービス費支給決定の根拠となる障害支援区分認定事務を行う。 障害者通所施設・豊能町立たんぼぼの家の管理運営（指定管理者委託）	16,122	17,261	0
3 町立たんぼぼの家屋根等改修事業	町立たんぼぼの家の指定管理者による施設適正管理のための費用（屋根、外壁、設備等改修費）	0	9,000	9,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者に対する各種給付により経済的支援を行い、障害福祉サービスの利用支援を行うことにより、自立と社会参加に繋げることができた。

- ・たんぼぼの家通所者数 18名、うち町内在住：11名（生活介護：6名、就労継続支援B型：5名）
- ・自立支援給付費等対象延べ人数 2,748名
- ・補装具費の支給件数 24件
- ・更生医療の給付件数 153件

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無	町立たんぼぼの家の町内在住利用者の減少、施設の老朽化	町内にも同様のサービスを提供する事業所があり、他市の事業所とあわせて選択肢が増えたため。施設に関しては、平成3年に開館しているため、経年劣化による設備・施設の老朽化が著しいため。
	費用対効果	無		
	中長期的な課題	無		
中長期的な課題	事業内容	有	町立たんぼぼの家の町内在住利用者の減少、施設の老朽化	町内にも同様のサービスを提供する事業所があり、他市の事業所とあわせて選択肢が増えたため。施設に関しては、平成3年に開館しているため、経年劣化による設備・施設の老朽化が著しいため。
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

町立たんぼぼの家の町内在住の利用者が減少し、また、施設の老朽化も年々進んでいることから、将来的な施設のあり方を再検討する必要がある。

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
決算書 105p

大事業名	障害者地域生活支援事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	移動支援事業、訪問入浴サービス事業、日常生活用具給付事業、意思疎通支援事業、身体障害者自動車改造助成事業、身体障害者自動車運転免許取得助成事業
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	地域生活支援事業を実施することにより、障害者の日常生活と社会参加を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者地域生活支援事業	障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を効率的・効果的に実施する。 地域の社会資源を活用し、地域の実情に応じたサービスを提供することにより、障害者の自立と社会参加が可能となる。	6,572	7,167	4,522

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各種事業の実施により、障害者の日常生活を支援するとともに、日常生活用具の給付により、経済的支援を行った。

- ・移動支援事業 110件
- ・訪問入浴サービス 57件
- ・日中一時支援事業 15件
- ・日常生活用具給付 512件

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	日常生活用具の給付や移動支援の利用量が増加している。	地域生活支援事業利用対象者の増加及びニーズが高まっているため。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

各種事業を適正に利用し、障害者の自立と社会参加を目指す。



令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
 決算書 105p

大事業名	障害者相談事業	項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	障害者相談事業、精神障害者地域活動支援センター運営事業、身体障害者・知的障害者相談員設置事業、障害者虐待防止センター事業
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	障害者の各種相談に応じるにより、自己決定による日常生活や社会生活が可能となるよう支援する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者相談事業	障害者及びその家族等からの相談に対応することにより、障害者の日常生活及び社会生活を支援する。また、障害者虐待に対応するための障害者虐待防止センターを設置する。 障害者が住み慣れた地域で、自己決定による日常生活や社会生活を営むことが可能となる。	3,182	3,180	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

相談支援事業を委託し、委託相談支援事業者より障害者やその家族に対して障害福祉サービスに関する情報提供や、様々な相談に応じることによる日常生活の支援を行った。

<相談業務の実績> (人)

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達支援	高次脳	その他	実人数
利用者	3	0	3	25	0	1	0	32

<支援方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	21	30	8	845	7	6	115	3	1035

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	対象者の増加
	事業内容	有	家庭支援者の高齢化
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

対象者の増加にも対応した相談支援体制の構築が必要である。
------------------------------

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
 決算書 105p

大事業名	障害者福祉事務事業	項目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画	第4期豊能町障害者計画 第6期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	障害者福祉事務事業、福祉団体振興育成補助金事業、自立支援協議会地域会議
対象	住民（障害児・者）
意図・目的	障害者福祉施策の適切かつ円滑な推進を目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者福祉事務事業	障害者福祉事業を適切かつ円滑に行うため、障害福祉サービス等管理システムを活用した事務処理を行う。また、障害福祉施策の推進のため、障害者団体の行う福祉事業に対して効果的な支援及び補助を行う。障害者福祉施策の適切かつ円滑な推進により、福祉の増進を図ることが可能となる。	570	462	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害福祉サービス等管理システムを活用し、迅速にかつ効率的に事務を行った。
--------------------------------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
決算書 105p

大事業名	障害児福祉事務事業	項		目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
	総合戦略			
個別計画	第2期豊能町障害児福祉計画		[その他]	

1.概要

事業内容	障害児相談支援、障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）
対象	障害児通所サービス等利用希望者
意図・目的	障害児通所サービス等に係る費用を給付することにより、障害児の地域での生活支援を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	ラホ特定財源
1 障害児通所支援等事業	障害児福祉施策として、身近な地域における支援を充実させるため、障害児通所サービス等の充実を図る。発達障害児や難聴児等2～3歳の早期に日常生活訓練等を提供することにより、地域生活支援の推進が図れる。 放課後等デイサービスに通所することで、障害児の放課後等の居場所・生活訓練の場を提供することが可能となる。	36,705	48,882	38,514

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

利用者が増加傾向にあり、様々なニーズに対応したサービスを提供した。  
（支給決定者数：平成30年度 28人、令和元年度 30人、令和2年度 35人、令和3年度 40人）

（サービス毎月平均利用人数）

- ・障害児相談支援 8人
- ・児童発達支援 9人
- ・放課後等デイサービス 28人
- ・保育所等訪問支援 1人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	今後の利用者増加と幅広いニーズに対応するために、町内に複数の相談支援事業所の存在が望ましい。	現在、町内に障害児相談支援に対応できる事業所が1カ所しかない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

障害児に対する重層的な地域支援体制の構築のため、必要な事業所の確保や関係機関との協議の場の設置を進める。

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉相談支援室  
決算書 107p

大事業名	障害者（児）通所事業所および相談支援事業所新型コロナウイルス感染症対策支援事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所に係る新型コロナウイルス感染症対策支援を行う。
対象	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所
意図・目的	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所への経済的支援を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害者（児）通所事業所および相談支援事業所新型コロナウイルス感染症対策支援事業	町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所において、新型コロナウイルス対策として要した費用の一部を補填する。	0	1,200	1,200

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

町内の障害者（児）通所事業所及び相談支援事業所に対して、新型コロナウイルス対策として要した費用の一部を補填することができた。  
【件数】  
障害者（児）通所事業所：5件  
障害者（児）相談支援事業所：1件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

**A**  
A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 107p

大事業名	在宅障害者支援事業	目		
		款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援			
個別計画	第3期豊能町障害者計画 第4期豊能町障害者福祉計画			[その他]

1.概要

事業内容	・障害者の外出を支援する事業
対象	・身体障害者
意図・目的	・身体障害者の自立した生活の継続を図ることを目的に実施する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 在宅障害者支援事業	・自立した生活を送れるように、おでかけくんを利用した外出支援サービスを提供する。 身体障害者に外出支援サービスを提供することで福祉の向上につながる。	11	36	0

3:主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●主な障害者支援事業の実績			
・外出支援事業（障害者分）	延べ利用回数	72回	

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 107p

大事業名	障害児相談事業	目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	障害者（児）福祉の充実		[その他]
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援			
個別計画	第3期豊能町障害者計画 第4期豊能町障害者福祉計画			

1.概要

事業内容	・作業療法、言語聴覚療法などにより、本人及び家族から相談を受け、障害に対し有効な生活動作や日常生活上の注意点などのアセスメントを行う。
対象	・在宅の障害児
意図・目的	・アドバイスを受けることにより、成長発達を促し、二次障害などを予防する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 障害児相談事業	・在宅の障害（疑いを含む）乳幼児に、専門職が日常生活上の適切なアドバイスを行う。	1,386	1,062	702

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害児の日常生活への支援 ・かがやき相談（乳幼児）延べ185件
------------------------------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	デイサービスセンター 管理事業	款		項		目	
		民生費	社会福祉費	社会福祉費	老人福祉費		

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画	豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	・生き生きデイサービスセンター施設の 適正な維持管理
対象	・生き生きデイサービスセンター
意図・目的	・生き生きデイサービスセンター施設を 適正に管理することで、利用者の生活を 豊かなものにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 デイサービスセンター 管理事業	・生き生きデイサービスセンター施設を適正に管理し、デイサービス利用者の生活と介護者の充実した生活につなげる。	894	577	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●生き生きデイサービスセンター施設運営実績	
・延べ利用日数	310日
・延べ利用者数	3,964人
・利用者数（一日あたり）	12.8人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化に伴うもの。
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは指定管理者と協議のうえ、計画的に施設設備の改修を行う。
--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	在宅高齢者支援事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画	豊能町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	・在宅高齢者が自立した生活を送ることができるよう支援する。
対象	・在宅高齢者
意図・目的	・在宅高齢者に各サービスを提供することにより、自立した生活の継続と高齢者福祉の向上を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 在宅高齢者支援事業	・自立した生活を送れるよう生活支援サービスを提供する。(高齢者等外出支援事業、見守り事業、紙おむつ給付事業、緊急通報装置貸与事業)	8,159	8,765	3,228

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●主な在宅高齢者支援事業の実績		
・紙おむつ給付事業	利用者	9人
・在宅高齢者外出支援事業	登録者	320人
おでかけくん	延べ利用回数	3,296回
民間介護タクシー委託分	延べ利用回数	4,089回
・在宅高齢者緊急通報装置貸与事業	利用者数	31人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	事業対象者の要件について検討が必要。	対象者の要件には、要介護認定が必要であるため、本サービスの利用目的で介護認定申請を行うケースが見受けられる。
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有	事業対象者の要件について検討が必要。	対象者の要件には、要介護認定が必要であるため、本サービスの利用目的で介護認定申請を行うケースが見受けられる。
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

C	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・事業対象者の要件の再検討や官民連携によるサービスの充実を図る。
----------------------------------



令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	長寿お祝事業	項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略		基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援		
個別計画				

1.概要

事業内容	・老人福祉法に規定する敬老に関する施策の実施
対象	・65歳以上の高齢者
意図・目的	・長年社会に貢献されてきた高齢者を敬う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 長寿お祝事業	・高齢者の敬老に関する事業の実施。(敬老のつどい、お祝品贈呈等)	163	217	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>●主な長寿お祝事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再長寿者（男女各1名）と白寿、米寿を迎える方へのお祝い品を配布</li> <li>・敬老のつどい（中止）</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	老人クラブ支援事業	項 目	
		民生費	社会福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	・高齢者の生きがいがづくりの推進、町老人クラブ連合会の活動支援
対象	・豊能町老人クラブ連合会
意図・目的	・高齢者の社会参加と生きがいがづくりの推進

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 老人クラブ支援事業	・豊能町老人クラブ連合会への支援事業	995	995	610

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>●老人クラブ支援に要した主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊能町老人クラブ連合会活動補助金 950,000円</li> <li>・主な活動内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>友愛訪問（90歳以上のクラブ会員）</li> <li>ねんりんとの（町老連広報誌）発行（6月、12月）</li> <li>「ごみゼロの日」実施（町内清掃活動）</li> <li>とよのSCウォーキングを東地区・西地区交互に開催（月一回）</li> </ul> </li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 111p

大事業名	永寿荘管理事業	項		目
		款	目	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉センター運営費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援			
個別計画				

1.概要

事業内容	・永寿荘の適正な維持管理、運営
対象	・老人福祉センター永寿荘
意図・目的	・永寿荘の適正な維持管理により、高齢者の憩いの場を提供する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 永寿荘管理事業	・永寿荘の適正な維持管理と、高齢者に対し憩いの場を提供することで、高齢者相互の交流を図り健康の増進、教養の向上を図る。	5,719	6,625	2

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●永寿荘施設運営実績	
・開館日数	206日
・延べ利用者数	2,162人
・利用者数（一日あたり）	10.5人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	有	有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和53年9月開館）
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	有	有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和53年9月開館）
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

・施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは計画的に施設設備の改修を行う。
-------------------------------------

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
 決算書 111p

大事業名	豊寿荘管理事業	項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉センター運営費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	・豊寿荘の適正な維持管理、運営
対象	・老人福祉センター豊寿荘
意図・目的	・豊寿荘の適正な維持管理により、高齢者に対し憩の場を提供する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 豊寿荘管理事業	・豊寿荘の適正な維持管理や、高齢者に対し憩の場を提供することで、高齢者相互の交流と健康の増進、教養の向上を図る。	5,281	5,960	1,443

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●豊寿荘施設運営実績	
・会館日数	248日
・延べ利用者数	9,275人
・利用者数（1日あたり）	37.4人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	進捗管理	有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは計画的に施設設備の改修を行う。
-------------------------------------

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 119p

大事業名	子育て支援センター運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまづくり	関連指標	[総合計画] 安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70% ファミリーサポートセンターの会員登録数120件
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略] 地域子育て支援拠点3箇所 安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70%
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育て支援を行う。 また、母子保健事業と連携し、拠点事業を発展させる。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	・子育て家庭の支援の充実 ・家庭における子育て力の向上 ・多様な子育て支援サービス環境の整備 ・母子保健と連携した妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 子育て支援センター運営事業	乳幼児やその保護者が気軽に集い交流できる場を開設し、育児に関わる情報の提供、子育ての悩みや不安の相談など子育て支援を行う。	801	347	93
2 ファミリーサポートセンター運営事業	育児講座、登録会員の研修を実施し、地域の子育て支援と児童福祉を向上させ、ファミリーサポート事業の充実を図る。	58	88	0
3 家庭訪問型早期子育て支援事業	母子保健事業と連携し妊娠期から子育て期までを対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施する。	338	488	488

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設開放「おひさまルーム」利用者数 延べ819人、632組</li> <li>一時預かり利用者数 延べ38人</li> <li>すくすく訪問（生後4か月まで） 42件</li> <li>ハイハイ訪問（1歳6か月まで） 29件</li> <li>ファミリー・サポート・センターの活動 5回</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	有	ファミリー・サポート・センターの会員数と利用促進	児童の減少によるニーズの減少
	有	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	有	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	有	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。</p>
---

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 119p

大事業名	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70%
	施策	子育て支援サービスの充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70%
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]	

1.概要

事業内容	妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ、『専門的な知見』と『当事者目線』の両方の視点を活かし、必要な情報を提供して切れ目なく支援する。
対象	妊婦・子育て家庭
意図・目的	ニーズに応じた必要なサービスを円滑に利用できるよう、切れ目のない支援を行う。 地域の様々な関係機関とネットワークを構築する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	ワンストップ相談窓口において、妊娠期、子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供、相談支援を行い、必要なサービスを円滑に利用できるよう、きめ細かく支援する。	23	27	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績 98件</li> <li>転入児訪問 31件</li> </ul>
---

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	進捗管理	無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。</p>
---

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 125p

大事業名	保健衛生推進事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		[総合戦略]
	施策	健康づくり等の充実		[その他]
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画				

1.概要

事業内容	・保健衛生の推進
対象	・保健衛生関連団体
意図・目的	・保健衛生の推進と関連団体の支援を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 保健衛生推進事業	・保健衛生関連団体の適切な運営を図るため、費用負担及び補助を行う。	3,136	2,076	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●保健衛生関連団体への費用負担及び補助の実績	
・府公衆衛生協会負担金	0円
・豊能地域救急医療対策運営費負担金	749,998円
・豊能広域こども急病センター管理運営費負担金	1,184,915円
・町食生活改善推進員協議会補助金	141,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 125p

大事業名	成人健康増進事業	健康増進課		
		衛生費	保健衛生費	予防費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		
	基本施策	生涯健康づくりの推進		
	施策	医療体制の整備		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			関連指標
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	・がん検診等の成人健康増進事業の実施
対象	・20歳以上の町民
意図・目的	・住民の健康保持と疾病の予防、早期発見を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 成人健康増進事業	・がん検診、住民健診等、成人保健事業の実施。 (各種がん検診、肺がん検診、結核検診、 肝炎検査、骨密度測定、歯科検診、住民健診、健康相談、栄養講座等)	31,977	36,458	2,332
2 肺がん検診(個別)事業	国の「肺がん検診ガイドライン」に40歳～79歳の男女に対する胸部X線検査と喀痰検査及び二重読影などを行うことにより、死亡率減少を示す根拠がある旨の指針が示されていることから、集団検診に加えて個別でも肺がん検診を実施する。	0	5,260	0
3 健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業	法改正に対応した健康管理クラウドシステムの改修を行う。	0	2,789	1,676

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

●成人健康増進事業実績(延べ人数)

[各種検診]

- 胃がん検診 494人 ・肝炎検査 18人 ・大腸がん検診 879人
- 骨粗鬆症検診 260人 ・子宮がん検診 508人 ・結核検診(個別) 3,708人
- 乳がん検診 490人 ・成人歯科検診 242人 ・肺がん検診 1,018人
- 住民基本健診 10人

[がん検診無料クーポン利用者数] (内数) ・子宮がん検診 8人 ・乳がん検診 18人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無	若年層のがん検診受診者が少ない。 若年層のがん検診への意識が低い。	
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

若年層を中心としたがんの罹患や検診に対する継続的な啓発を行う。
---------------------------------



令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 127p

大事業名	予防接種推進事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	予防費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		[総合戦略]
	施策	医療体制の整備		[その他]
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画				

1.概要

事業内容	・予防接種法及び結核予防法に基づく予防接種の実施。
対象	・法で定められた接種対象者
意図・目的	・感染の恐れがある疾病の発生および蔓延を予防する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 予防接種推進事業	・子どもの予防接種、高齢者の予防接種ほか	49,716	37,014	1,131
2 ロタウイルス予防接種情報の副本登録対応事業	・法改正に対応した健康管理クラウドシステムの改修を行う。	0	696	696
3 新型インフルエンザ予防接種情報の管理及び副本登録対応事業	・法改正に対応した健康管理クラウドシステムの改修を行う。	0	1,478	984

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●予防接種実績（延べ）

【A類疾病】・MRI期 47人 ・MRⅡ期 72人 ・日本脳炎 159人  
 ・二種混合 85人 ・不活化ポリオ 0人 ・四種混合 211人  
 ・水痘 87人 ・ヒブ 202人 ・小児用肺炎球菌 186人  
 ・BCG 55人 ・B型肝炎 149人

【B類疾病】・高齢者インフルエンザ 5,423人 ・高齢者肺炎球菌 216人 ・風しん第5期 52人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 127p

大事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	款		項		目	
		衛生費		保健衛生費		予防費	

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		[総合戦略]
	施策	医療体制の整備		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	感染所による死亡者や重傷者の発生をできる限り減らし、結果として感染症のまん延の防止を図るための予防接種を実施する。
対象	予防接種対象者
意図・目的	感染症の予防に有効であると確認されたワクチンを接種することによって、個人の感染予防・重症化の防止を図るとともに、集団の感染症のまん延を防止する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 新型コロナワクチン接種体制確保事業	新型コロナウイルスワクチン接種の実施にあたり、令和2年度中に必要な体制を整備し、医療従事者等に対して先行・優先的な接種を行う。その後、高齢者への接種、令和3年度には、65歳未満に対して接種券を郵送し本格的に町民に対して予防接種を実施する。	7,599	303,452	303,452

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

接種	接種回数（回）	接種率（%）
1回目	16,535	87.83
2回目	16,465	87.46
3回目	9,012	47.87

※接種回数については、ワクチン接種記録システム（VRS）に基づくもの  
 ※接種率の接種対象人数（接種率の分母）は総務省公表の「【統計】令和3年 住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」を利用

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 127p

大事業名	母子健康増進事業	項目		
		衛生費	保健衛生費	母子衛生費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		[その他]
総合戦略	基本目標2 「住みよくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実			
個別計画				

1.概要

事業内容	・妊産婦、乳幼児の疾病早期発見、健康増進、育児不安の解消。
対象	・妊産婦、乳幼児
意図・目的	・妊産婦・乳幼児の疾病早期発見、健康増進、育児不安や虐待の予防を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 母子健康増進事業	・妊産婦や乳幼児に対する各種健診の実施、健診にかかる費用を助成を行うことで疾病の早期発見・治療を図るとともに、疾病の予防や健康増進を図る。 また、健康相談や教室、健診をとおして、育児意識を高め、楽しんで育児ができるよう支援し、育児不安や虐待を防止する。	7,150	7,321	0
2 乳幼児健診充実事業	乳幼児健診時のコロナ感染症対策として、密を避けるため、検診対象児の検診を個別に時間を設定して実施している。そのため、検診にあたる医師(内科、歯科)について、従前の出務が時間延長となるため、出務費を原額し、感染対策上の余裕を持った検診を実施する。	0	180	180

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

●妊婦・乳幼児健診の実績(延べ)

- ・母子健康手帳発行数 46人
- ・妊婦一般検診 80人
- ・乳児一般検診 42人
- ・乳児後期検診 38人
- ・乳幼児健診
  - 4か月 10回 37人
  - 1歳6か月 3回 45人
  - 2歳6か月 4回 49人
  - 3歳6か月 4回 56人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 129p

大事業名	子育て世代包括支援センター (母子保健型) 運営事業	款		項		目	
		衛生費		保健衛生費		母子衛生費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実			
個別計画				

1.概要

事業内容	・子育て世代包括支援センター（母子保健型）の運営
対象	妊産婦及び18歳までの子ども
意図・目的	・妊娠前から子育て期にわたり、切れ目のない子育て、母子保健サービスを実施する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業	・子育て世代包括支援センター（母子保健型）の運営	1,077	1,740	913

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>相談実績 98件</li> <li>転入児訪問 31件</li> <li>乳児家庭全戸訪問 延べ67回</li> <li>妊産婦時間接 52人（転入児面接を含む）</li> <li>産後ケア事業 8人、56回</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	有	有		
	無	無		
中長期的な課題	無	無	子育て支援施策のワンストップ型の促進（子育て世代包括支援センターの統合）	施設、人員の不足
	有	有		
	無	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>公共施設再編に合わせて、子育て支援センター、子育て世代包括支援センター（基本型）（母子保健型）の3機能をワンストップ型に整備し、人員を増強する。</p>
---

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 129p

大事業名	保健福祉センター管理事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	保健福祉センター運営費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		[総合戦略]
	施策	健康づくり等の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	・保健福祉センター施設の適正な維持管理と運営
対象	・保健福祉センター
意図・目的	・施設を適正に維持管理、運営することで、町民に対する保健福祉の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 保健福祉センター管理事業	・保健福祉センター施設の適正な維持管理と運営	6,640	6,130	610
2 感染症対策事業	・保健福祉センター施設の感染症対策の強化	0	265	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●保健福祉センター管理に要した主な経費

・電気、ガス、水道代（光熱水量費）	2,995,045円
・施設修繕料	128,975円
・電話代（通信運搬費）	333,072円
・施設設備等保守管理費	1,169,100円
・施設設備など清掃	465,997円
・施設機械整備	389,400円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 有	設備等の改修に伴う管理経費の増大が見込まれる。	施設の老朽化によるもの（昭和61年開館）
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

・施設の老朽化に伴い、改修が必要なものは計画的に施設設備の改修を行う。
-------------------------------------

令和3年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 171p

大事業名	子育て支援環境の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70%
	施策	子育て支援サービスの充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		安心して子供を産み育てやすい町だと思割合70%
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]	

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	地域住民・保護者
意図・目的	・子育ての不安解消 ・育児負担の軽減 ・親子の基本的信頼関係の構築 ・子育て家庭を支える地域ぐるみのサポート体制の強化

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R02決算	R03決算	うち特定財源
1 子育て支援環境の充実事業	・地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各課題解決事業を実施し「育児の日」の取組みを進めることにより、妊娠前から子育て期・中高年期の幅広い世代が交流する場を創出し、次世代子育てネットワークの体制整備を行う。	193	378	377
2 子育て支援地域交流充実事業	幼稚園・保育所・こども園・子育て支援センターが、地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ、交流事業等を積極的に実施し、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。	554	611	611

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・育児の日	8回
・地域交流事業	39回（保育所・幼稚園・子ども園36回、子育て支援センター3回）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--